



2012年バンコク大会

北京・上海・蘇州合同、広州・成都合同、台湾、香港、フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシアの12チームが参加



バンコク

ASEAN  
インテック  
海外オフィス発  
2



なか ともひろ  
インテック システムズ バンコク社長 中 智弘

1990年インテック入社、2008年インテック上海総経理、2011年海外事業部ASEANチームリーダー。米国、香港、上海で営業・マネジメントに携わるなど、海外拠点での業務経験が豊富。

## 日本人駐在員、ラグビーで交流

サウデーターカップ(タイ語で「心にははし」)。バンコクはそろそろ爽やかな気候の乾季が終わり、一年で一番暑い時期に入ります。今回はアジアで働く駐在員の休日の過ごし方を紹介したいと思います。タイで日本人に人気のスポーツと言えはゴルフです。バンコク周辺には70を超えるゴルフ場があり、南国特有のゆったりとしたゴルフをリーズナブルに楽しめます。

### 日本人ラグビーチームがバンコクに集結

私は学生の頃にラグビーをしていたこともあり、過去の駐在員である香港、上海、そしてここバンコクで日本人駐在員を中心としたラグビーチームに参加しています。一緒にプレーしたメンバーは元日本代表や強豪社会人チーム、伝統校で名前を轟かせた者から初めてラグビーボールに触った者まで様々で、年齢も20代前半から50代後半までと幅広く、仕事抜きの付き合いができて楽しめる場でした。ただそこは多少の危険が伴うスポーツですし、試合の相手は各地の在住欧米人や大学生です。日々のトレーニングは欠かせません。

さて、日本人ラグビーチームはアジア各都市にあり、年に一度開かれる真剣勝負の祭典「アジアン・ジャパニーズ・ラグビー・カップ(AJRC)」での勝利を目標に年々チーム数、参加者が増えています。

私が香港に駐在していた1997年にシンガポール、バンコク、香港の3チームで始まった大会も昨年で15回目を迎えました。12チーム400名を超える規模になり、第1回の開催地バンコクで12月に行われました。結果は古豪のシンガポールが台湾を決勝戦で破り、4回目の優勝を飾りました。昨年のジャカルタ大会で優勝したバンコクは地元での2連覇を目指しましたが、初戦の台湾戦で敗れ残念ながら5位となりました。

### チームの強さは日系企業の進出と比例する?

私は過去に14回参加していますが、大会の特徴としては日系企業の進出の活発な地域が強くなる傾向があるように思います。ここ数年はジャカルタやミラの新興国チームの躍進が目を見えます。過去の常勝チームの香港はプレーヤーの年齢層が上がりに、若い駐在員が多い新興国

に苦戦するなど、各地域の日本人駐在員の変化がチームにも反映され興味深いところです。

大会はアジア各地での持ち回りで開催されていますが、2008年はタイの空港占拠問題で中止となり、またテロのリスクのためジャカルタでは2011年まで開催されないなどアジアの政治情勢も垣間見ることが出来ます。

また、試合後には一同が集まるアフターファンクションが開かれ、各地域の生きた情報を聞くことができます。様々な業種の駐在員が集まる大会ならではの楽しみです。同じような日本人ラグビーの大会はアジアから派生し、ヨーロッパ、アメリカでも開催されています。近い将来の統一開催を夢見て、今回はここまでとさせていただきます。



右から2人目が筆者